

災害伝承におけるアートの役割：東日本大震災後の アートプロジェクトを事例に

梶原，千恵

<https://hdl.handle.net/2324/7182471>

出版情報：Kyushu University, 2023, 博士（芸術工学），課程博士
バージョン：

権利関係：Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)



氏 名 : 梶原 千恵

論 文 名 : 災害伝承におけるアートの役割
ー東日本大震災後のアートプロジェクトを事例にー

区 分 : 甲

論 文 内 容 の 要 旨

本研究の目的は、東日本大震災後にアーティスト・瀬尾夏美と映像作家・小森はるかによって実施された2つのアートプロジェクトを対象に、震災の語りの創作プロセスと語り方の特徴を〈共創〉の視点から分析することによって、災害伝承におけるアートおよびアーティストの役割への理解を深め、災害伝承の担い手育成の発展に向けた示唆を得ることである。

災害伝承とは、自然災害の記憶や教訓を口頭の語り、震災伝承施設、アーカイブなどを通して次の世代に伝える行為である。震災から12年が経過し「次世代の担い手育成」という課題に直面し、「震災の当事者が語り手で、非当事者が聞き手である」という構造への発想の転換が必要になる。そこで本稿では、これまでの災害伝承研究および実践で重視されてきた「協働(Collaboration)」にかわり、人々の集合的な創造活動に目を向ける〈共創〉の視点を用いて、当事者と非当事者の相互行為のなかで新たな語りが生まれることに着目した。

分析の対象は東日本大震災後にアーティスト・瀬尾夏美と映像作家・小森はるかが実施した2つのアートプロジェクト《波のした、土のうえ》(2014)、《二重のまち／交代地のうたを編む》(2019)である(以下、《波のした》《二重のまち》と表記)。これらの物語は、観客の震災経験の有無に関わらず「これはまさしく自分の物語だ!」と感じさせることがある。このことは災害伝承の目指す「自分事」と関わりがあると考え対象として選んだ。

《波のした》は、復興工事によってかさ上げされる土地にまつわる記憶を住民自身の声で記録するプロジェクトである。制作プロセスと成果物の2つの側面から分析すると、アーティストには身体を通した実感を重視する「表現への真摯さ」があり、「追体験」「並ぶ関係」「待ちの技法」というわざを使って、住民にとっては語り難い「大事なこと」＝価値観を顕在化させていたことが分かった。また《波のした》の語りと、語り部の語りの形式を比較すると、《波のした》には背景的説明に重点を置く、登場人物の内的視点から語る、視聴者と並ぶ関係をつくるという特徴があり、これらが視聴者に、親しい人に語り掛けられていると感じさせる要因になると考えた。

《二重のまち》は、二人のアーティスト被災地へ移住し、練り上げたわざを参加者に伝達するプロジェクトであり、震災当時子どもで、被災地以外に居住していた若者が参加した。参加者の変化をTEAという質的分析方法を用いて分析したところ、当事者のことを100%理解しきことはできないが、それでもなお接近し続けようとする姿勢がみられた。《二重のまち》において「担い手」になるとは、語る内容や語り口を習得することではなく、語り手としての立場を確立することだった。また、深い体験をした参加者はスキーマが変化し、自分なりの言葉で語るようになったり、非当事者の負い目が軽減されたりした場合もあった。

以上の結果から、災害伝承におけるアートの役割とは、聞き手を揺さぶるような「表現の強度」を実現することであり、アーティストは、語り手の大事なことを結晶化させていく「わざ」を用い

て、語りの水準をあげていく。「わざ」とは、芸術の特別な才能がある人にしかできない行為ではなく、日常的実践の組み合わせで構成されている。日常的実践の組み合わせが「表現の強度」につながっているのは、アーティストには、どうしても誰かに伝えなければいけないという切実さに支えられた「表現への真摯さ」があるからである。

災害伝承が目指す「自分事」を実現するためには、聞き手が深い体験を通して実感することが重要である。そのためには、聞き手の想起を賦活させるような映像や詩や、追体験ができる演劇的な手法などは有効である。「担い手育成」においては、はじめからプレゼンテーションなどのスキルを身に付けることよりも、まず前段階として深い体験をすることによって、実感のこもった語りになり、第三者にも伝わりやすくなるのではないか。アートは持続させる上で、アートの役割はますます重要になるだろう。今後は本研究で得られた知見を用いて、非当事者を対象にしたアートプロジェクトを实践し、その効果を検証したい。